

PCSA アクションレポート（理事会）

平成 30 年 4 月版

4 月拡大理事会

開催日時 平成 30 年 4 月 19 日（木） 午後 4 時～午後 5 時 5 分
開催場所 PCSA 会議室
出席者 理事 5 名、幹部 5 名、賛助会員オブザーバー 21 名、合計 31 名

<代表理事>

加藤 英則 夢コーポレーション株式会社 代表取締役社長

<理事>

藤本 達司 株式会社ダイナム 代表取締役社長
金光 淳用 株式会社ヒカリシステム 代表取締役社長
河本 成佑 株式会社晋陽 代表取締役社長

<専務理事>

中島 基之 一般社団法人パチンコ・チェーンストア協会
※理事 5 名

<監事>

川辺 悦史 株式会社セルノ 代表取締役社長
宮村 伸輔 株式会社エルゴジャパン 常務取締役

<モデレーター>

佐藤 公平 株式会社ダイナム 取締役会長

<アドバイザー>

牛島 憲明 牛島憲明事務所 代表
藤田 宏 株式会社エンタテインメントビジネス総合研究所 代表取締役社長

<賛助会員オブザーバー>

中村 訓杓 大都販売株式会社 次長
國澤 良幸 株式会社大商 会長
國澤 良平 株式会社大商 景品流通部 部長
秋山 学 株式会社マースエンジニアリング 執行役員 広域営業推進室長
江藤 征弘 株式会社マースエンジニアリング 首都圏営業部部長
石山 一広 三本コーヒー株式会社 常務取締役
竹田 雅俊 株式会社ピーエーネット技術研究所 代表取締役社長
吉田 順一朗 株式会社エース電研 営業拠点長
若山 佳則 ジャパンネットワークシステム株式会社 営業本部 課長
中村 克彦 ゼニス株式会社 代表取締役社長
宮崎 昌彦 グローリーナスカ株式会社 取締役
笹岡 広志 グローリーナスカ株式会社 営業統括部 部長
菊山 勝三 グローリーナスカ株式会社 南関東支店 支店長

青木 康允 ファンライフ・デザイン株式会社 顧問
 岡本 健 株式会社東和商事 常務取締役
 高鍋 貴行 オリックス株式会社 アミューズメント事業部 部長
 鈴木 智紀 オリックス株式会社 アミューズメント事業部 課長代理
 羽島 正敬 株式会社山宝商会 常務執行役員
 廣田 道明 株式会社山宝商会 流通部 部長
 前川 竹志 株式会社インターコスモス 取締役本部長
 古賀 新 株式会社インターコスモス 東京支店 支店長

第 1 号審議議案「新入会員 入会」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。賛助会員に入会希望の会社、2 社について説明をした。

<概要>

1. 福島電力 株式会社

本社所在地 福島県双葉郡楡葉町大字下小埜字町 3
 代表者名 代表取締役 眞船 秀幸
 資本金 9,500 万円
 設立 2016 年 10 月
 売上高 75 億円
 従業員数 60 名
 事業内容 電力供給サービスを中心に、発電配電事業
 入会動機 新電力の活用、切り替えによる会員並びに賛助会員企業の電力経費節減に尽力したい
 反社会的勢力関係 皆無
 他団体加入 無
 紹介者 元衆議院議員 木内 孝胤様（希望の党）

2. PLUS-T パートナース 株式会社

本社所在地 大阪府大阪市中央区島之内 1-22-23 堺筋山忠ビル 403
 代表者名 代表取締役 菅野 泰弘
 資本金 500 万円
 設立 2016 年 9 月
 売上高 1 億 2,000 万円
 従業員数 8 名
 事業内容 サービス業、卸業
 入会動機 PCSA 会員企業の皆様に新たなホールに於けるサービス事業をご提案したい
 反社会的勢力関係 皆無
 他団体加入 無
 紹介者 衆議院議員 野田 聖子様（自由民主党 PCSA 政治分野アドバイザー）

<意見>

- ・PLUS-T パートナースはどのような会社か？
 > ホールに対するサービス業。プライベートブランドのたばこなどを販売している。
- ・入会されたら、長く活動いただくように促してほしい。

<審議>

加藤：この2社を5月の定時社員総会にて賛助会員入会の審議を送ってよろしいか？

一同：異議なし。

第2号審議議案「第17期定時社員総会・第64回（公開）経営勉強会」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。今回、勉強会の内容を踏まえ経営勉強会を「公開」としたい。従来のまま非公開とするか、公開に変更するか審議をした。また、当日のスケジュール、内容について審議をした。

第17期定時社員総会・第64回PCSA公開経営勉強会 次第案

2018年5月31日（木） 於：TKPガーデンシティプレミアム神保町 3階「プレミアム ボールルーム」		
	行事内容	担当・進行役
12:00	総会受付	事務局
第一部 第17期定時社員総会		
13:00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 開会宣言 ・ 代表理事挨拶 ・ 総会定足数確認報告 ・ 議長選出 	理事 事務局 事務局
13:05	審議・報告事項 第1号報告議案「第16期事業報告・決算報告・監査報告」の件 第2号審議議案「第17期事業計画(案)・事業予算(案)」の件 第3号審議議案「第17期役員改選(案)」の件 第4号審議議案「新入賛助会員 入会」の件 第5号審議議案「研究部会運営規程 改正」の件 その他 （第17期役員改選承認を受けて、新役員は別室にて第1回理事会を開催し、新執行部を決定し議場に戻る）	議長
13:20	新入会員 入会挨拶	新入会員
13:25	研究部会・研究会・プロジェクトチーム 第16期活動報告・第17期活動計画 報告	リーダー・委員長
13:45	新役員発表・委嘱状授与・就任挨拶 研究部会・研究会リーダー・サブリーダー発表委嘱状授与・就任挨拶	
14:00	『ご講話』 警察庁生活安全局保安課 課長補佐 津村 優介 様	
14:15	功労会員表彰	
14:25	第1回PCSAフレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ表彰式	
15:00	事務局報告 閉会宣言	理事
第二部 第64回PCSA公開経営勉強会		
15:30	開会挨拶 第1部 『新しい規則で生まれる遊技機 ～パチンコ/SANKYO編～』 講師：轟木 崇大様 （株式会社SANKYO 商品本部 第一開発部次長兼ゲージ課課長）	副代表理事
16:30	休憩	
16:45	第2部 『新しい規則で生まれる遊技機 ～スロット/ユニバーサルエンターテインメント編～』(案) 講師：長谷川 崇彦 様 （株式会社ユニバーサルエンターテインメント 開発本部 マーケット戦略室 室長 日本アミューズメント放送株式会社 代表取締役）	
17:45	閉会挨拶	副代表理事
18:00	情報交換・交流会 会場 3階「プレミアム ガーデン」	
20:00	お開き	
*情報交換会出席の方は、お一人様会費¥6,000を徴収させていただきます。		

<意見交換・公開勉強会に変更する事について>

- ・第 2 部には他メーカーの講演を検討していたが、11 月に延長になった。
- ・予定では 5 月は非公開の勉強会であったが公開にする理由は？
 - > 一般の方はメーカーの話聞くチャンスはないので公開にして間口を広げたい。また、今期から勉強会費を 5000 円いただく事にしたので実際に実施したい。
- ・会場にどのくらい余裕があるのか？
 - > 外部の方が 100 名くらいは入ることが出来る。
- ・これまでの勉強会費は？
 - > 昨年までは 1 名 2000 円、2 人目からは 1000 円であった。

<審議・公開勉強会に変更する事について>

- 加藤：それでは、第 64 回経営勉強会を非公開から公開に変更しても良いか？
- 一同：異議なし。

<意見交換・スケジュール・内容について>

- ・総会の開催時間を 1 時間半にしてほしい。1 時に始まり 2 時 30 分に終了して第 64 回公開経営勉強会を 3 時始めるスケジュールを立ててほしい。総会の開始時刻は変えずに終了時刻を 30 分縮め、その後のスケジュールを 30 分ずつ繰り上げる。
 - > 定時社員総会は内容が多く 2 時間でちょうどいいと思われる。
 - > 行政講話、経営勉強会の講師に時間を伝えており変更は困難。
 - > 行政講話の 14 時は変更せずに、功労会員を行政講話の前にするなどして調整してほしい。

<審議・スケジュール・内容について>

- 加藤：それでは、第 17 期定時社員総会について、講師の都合がつけば 90 分に短縮するという事でよいか？
- 一同：異議なし。
- （*注：120 分から 90 分への短縮で進めたが、スケジュールの変更が困難なため 120 分そのまま開催する事とした。）

第 3 号審議議案 「研究部会運営規程 改正」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。従来の規定では研究部会部員の承認は理事会となっていたが、それを担当理事、もしくはリーダー、サブリーダーと変更すべく規程の改正案を起案した。修正内容について審議をお願いしたい。

<研究部会運営規程>

第 5 章 役職

【現行】

第 4 章 部員

第 7 条（構成）

各研究部会は、PCSA 理事会から委嘱された正会員企業複数社からの部員（「委嘱部員」という）、正会員企業から公募した部員（「一般部員」という）、および賛助会員および特別会員から公募を行い、PCSA 理事会が承認した部員（「賛助部員」という）とによって構成されるものとする。

2. 前項において、一般部員および賛助部員の有無は、研究部会成立要件とは関わりない。

【改正案】

第 4 章 部員

第7条（構成）

各研究部会は、PCSA 理事会から委嘱された正会員企業複数社からの部員（「委嘱部員」という）、正会員企業から公募した部員（「一般部員」という）、および賛助会員および特別会員から公募した部員（「賛助部員」という）によって構成されるものとする。

2. 一般部員ならびに賛助部員は、各研究部会の担当理事もしくはリーダー、サブリーダーの承認により正式に部員となる。

3. 第1項において、一般部員および賛助部員の有無は、研究部会成立要件とは関わりない。

<意見交換>

・文書について。分かりやすくするために部員の承認は担当理事がすることを原則とし、担当理事がリーダーもしくはサブリーダーに代行委任した場合はリーダー、サブリーダーの承認ができるとした方が良いのではないか。

<審議>

加藤：それでは、今の意見を反映させて第17期定時社員総会に上程するというのでよいか？

一同：異議なし。

第4号審議議案「PCSA 功労会員」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。事務局案として次の2名の方を第17期の功労会員として推薦され、審議をした。

<第17期PCSA 功労会員 事務局案>

正会員：① 志賀 健太郎 氏（株式会社ニラク 人材開発部 人事労務グループマネジャー）

推薦理由：第14期のより人事問題研究部会リーダーに就任。

就任後、女性活躍推進情報交換会を新規に立ち上げ、これまでに3回情報交換会を開催、特に第2回目においては徳島、高松に訪問し株式会社グランド商事アドバンスの女性スタッフだけのスロット専門店などを見学、意見交換も実施した。また、企業訪問・ストアコンパリゾンも積極的に開催。この3年で石屋製菓株式会社（社内改革）、株式会社ニラク（人事・教育制度全般）、株式会社マルハン（人事制度）、株式会社一蘭（ハイ・サービス日本300選）、株式会社TRY&TRUST（理念経営）、株式会社ダイナム（ローコストオペレーション・福井県店舗）などに訪問した。

これらの活動の成果は同氏のリーダーシップによるところが大きく功労会員として推薦する。

賛助会員：① 園田 悦志 氏（株式会社大商 関東統括支店長）

推薦理由：同氏は第5期よりコスト問題研究部会に部員として入会、10年以上に亘り継続的に出席され、ホール企業向けの賞品に関して、数多くの提案、提言を行っている。第7期にコスト問題研究部会でPB賞品（なとり・チーズ鱈）を開発した際には、企画から物流に至るまで主体的に活動され、同氏の全面的なご協力があったて実現に至った。また、幅広い人脈を生かし、平成30年4月には江崎グリコ工場訪問の準備にご尽力いただいた。コスト問題研究部会における同氏の貢献は非常に大きなものがあり、功労会員として推薦する。

<意見交換>

・功労会員の重みは？ どのような人が受賞できるのか？

> 受け取った方ではないと分からない部分がある。なお、過去の功労会員の一覧は資料を添付している。

<審議>

加藤：それでは、起案の2名の方を功労会員として表彰してもよろしいか？

一同：異議なし

第 5 号審議議案 「第 1 回フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ」最終審査【承認】

当件について事務局より説明があった。「第 1 回フレッシュマンズ懸賞アイデア・エッセイ」の募集を行ってきたが、2 月末直前に応募が数編だったことから 3 月末までに締め切りを延長。50 作品の応募があった。それを人事問題研究部会の部員の皆様に 1 次審査をお願い、15 作品を 1 次審査通過作品として審査員の皆様に審査をお願いした。4 月 16 日を最終審査の締切とし、13 名の審査員から審査いただいた結果が資料の表となる。その結果により下記の受賞者の案を作成した。なお、賞金は最優秀賞は 30 万円、優秀賞は 10 万円になっている。

<受賞者案>

最優秀賞：朝来 修二氏 「コモンズの悲劇を回避するために」

優 秀 賞：村中 朗 氏 「ゲームとしてのパチンコの存在」

龍澤 史菜氏 「気づいちゃった悲しみに」

<意見交換>

・次回は賞金額についても検討する。

・次回開催も検討項目となっている。

<審議>

加藤：それでは、起案の通り、最優秀賞 1 名、優秀賞 2 名の方を受賞者としてよろしいか？

一同：異議なし

第 6 号審議議案 「第 17 期研究部会 リーダー・サブリーダー・部員」審議【承認】

当件について事務局より説明があった。第 17 期の部員メンバー案とリーダー、サブリーダー案が揃った。リーダー、サブリーダーについては第 17 期定時社員総会で委任する。

<リーダー・サブリーダー案>

法律問題研究部会

リ ー ダ ー： 荒田 政雄氏 (夢コーポレーション株式会社 監査役)

サブリーダー： 八重樫 浩輝氏 (株式会社合田観光商事 執行役員 業務推進部 部長)

人事問題研究部会

リ ー ダ ー： 志賀 健太郎氏 (株式会社ニラク 人材開発部 人事労務グループ マネジャー)

サブリーダー： 木内 克宏氏 (アメニティーズグループ (株式会社パンドラ) 組織戦略部)

不正対策研究部会

リ ー ダ ー： 松本 浩氏 (株式会社ヒカシステム 設備マネジメントグループ メンテナンスチーム アシスタントマネジャー)

サブリーダー： 倉沢 隆志氏 (株式会社ニラク 法務部 法務担当)

コスト問題研究部会

リ ー ダ ー： 佐藤 千恵氏 (株式会社セントラル伸光 営業部 課長)

サブリーダー： 宮村 伸輔氏 (株式会社エルゴジャパン 常務取締役)

遊技法研究会

委 員 長： 荒田 政雄氏 (夢コーポレーション株式会社 監査役)

副委員長： 石山 一広氏 (三本コーヒー株式会社 常務取締役)

依存問題対策プロジェクトチーム

リ ー ダ ー： 辻 良樹氏 (株式会社ダイナムジャパンホールディングス 法務グループ グループ長)

サブリーダー： 荒田 政雄氏 (夢コーポレーション株式会社 監査役)

＜意見交換＞

- ・研究部会に出していない企業はあるか。
 - > 正会員で半数近くある。
 - > 部会参加を促してほしい。
- ・不参加の理由は「遠方」という事もあるかもしれない。

＜審議＞

加藤：リーダー、サブリーダーにつき、この内容でよろしいか。

一同：異議なし

加藤：部員については規程を第 17 期定時社員総会で改正し、担当理事により承認とする。

第 7 号審議議案 「政治分野アドバイザー就任」審議

当件について事務局より説明があった。下記の議員より PCSA 政治分野アドバイザーの就任承諾書が届いた。

＜概要＞

木村 次郎衆議院議員（自由民主党・1 回） IR 議連、風営法議連、新娛樂研 未所属

＜意見交換＞

- ・政治分野アドバイザーでパーティー券の依頼が来ていない人もいるか？
 - > 半数ほどいる。

＜審議＞

加藤：木村次郎議員について、PCSA 政治分野アドバイザーに就任いただいでよろしいか。

一同：異議なし。

第 8 号報告議案 「18 歳未満立入禁止の対応について 文書送付」報告

当件について事務局より説明があった。3 月理事会の結果、18 歳未満立入禁止の対応について、PCSA の意見を全日遊連に伝えるという事が決まり、理事会から一任を受けた代表理事に確認の上、文書を変更し全日遊連に送付した。また、併せて会員の皆様と情報を共有した。

以下、全日遊連に送付した文書の抜粋となる。

『弊協会アドバイザーの三堀 清弁護士に確認しましたところ「出玉を没収し、使用した遊技料金を返金する」事が法律的に正しい対応であるというご意見をいただきました。

当然、弊協会会員においても 18 歳未満立入禁止について、十分な対応をしていく所存であります。返金の対応につきましては、三堀弁護士の見解も会員と共有して参ります事をご報告申し上げます。』

＜意見交換＞

- ・全日遊連からの反応はない。
- ・この文書は回答を求めるものではなく、考えを伝えたものとなる。

第 9 号報告議案 「正会員調書」報告

当件について事務局より説明があった。正会員調書を年に 2 回調査しているが、本年 4 月 1 日版の調書について報告があった。

＜記＞

店 舗 数： 713 店舗
 月 次 会 費： 2,215 千円
 パチンコ設置台数： 230,034 台

スロット設置台数: 108,723 台
 合計設置台数: 338,757 台
 総会議決権: 29

第10号報告議案「研究部会・委員会活動」報告

当件について事務局より説明があった。

1) 人事問題研究部会 リーダー：志賀 健太郎

1. 4月定例研究部会（4月13日（金）11時～15時 開催・PCSA 会議室にて）
 <定例研究部会>
 1. 『労働新聞』説明会 開催
 労働新聞の御担当者による説明。
 2. 春闘要求&回答 共有
 春闘要求の内容や結果についてアンケート内容を共有。
 3. 新卒入社人数 共有
 新卒入社人数（2018年4月時点）についてアンケート内容を共有。
 4. 新年度「活動計画共有」
 ・拡大部会、女性活躍推進、新卒採用、他テーマなどについて検討。
 5. 新年度「労政時報勉強会&各社情報共有」
 ・新年度における労政時報勉強会の進め方を協議。
 6. 各社トピックス
 ・各社の困ったこと、質問したいことなどの情報を共有、検討。
2. 5月定例研究部会（5月11日（金）11時～15時 開催予定・PCSA 会議室にて）
 <定例研究部会>
 1. 最新の人事労務テーマについて
 2. 拡大部会開催について
 3. 労政時報勉強会
 4. 各社トピックス共有 他

2) コスト問題研究部会 リーダー：佐藤 千恵

1. 4月定例研究部会・企業訪問
 （4月12日（木）13時30分～16時45分 開催・江崎グリコ株式会社 工場 グリコピアイースト）
 <江崎グリコ株式会社 工場 グリコピアイースト 訪問>

午後1時30分	集合 JR 北本駅 改札口
午後1時45分～3時	工場 グリコピアイースト見学
午後3時10分～3時45分	プレゼンテーション 江崎グリコ株式会社 販売計画室 Mgr 吉田 和弘 様 「消費者購買傾向から考察する市場動向 →消費者ニーズへのアプローチ」
午後3時45分～4時30分	第149回コスト問題研究部会 in グリコピアイースト
午後4時45分	解散 JR 北本駅
2. 5月定例研究部会（5月10日（木）13時～17時 開催予定・PCSA 会議室にて）

＜定例研究部会＞

1. 賛助会員紹介プレゼンテーション「匠 BANK.P 業界初のマッチングアプリ！」
2. 部員近況報告（コスト関連情報交換）
3. 企業トピック&コスト削減に関する情報共有

3) 不正対策研究部会 リーダー：松本 浩

1. 3月定例研究部会（3月23日（金）13時～15時開催予定・PCSA 会議室にて）

＜定例研究部会＞

1. 役比モニター説明内容 改正版について
2. セレクター不正改造注意喚起について（北電子）
3. 最新ゴト情報・2月ゴト被害アンケートについて
 - ・各社からの質問、報告など情報共有。
 - ・ゴト被害アンケートについて（2月ゴト被害アンケート集計について情報共有）
4. 不正対策研究部会 質問コーナー
 - 「誤差玉レア事例について」「ゴーゴージャグラー ホールコンデータについて」
5. 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 報告事項

2. 4月定例研究部会・勉強会（4月20日（金）13時～17時開催・PCSA 会議室にて）

＜定例研究部会＞

1. 最新ゴト情報・3月 ゴト被害アンケートについて
2. 不正対策研究部会 質問コーナー 「遊技機 A・B 発煙発火事例について」
3. 株式会社ユニバーサルエンターテインメント 報告事項
4. 不正対策 業界誌記事について

＜第41回不正対策勉強会＞

テーマ：「最新のゴト情報について」

講師：有限会社ジャパン・セキュリティ・サービス 代表取締役 高石 隆一 様

4) 法律問題研究部会 リーダー：荒田 政雄

1. 3月定例研究部会（3月24日（土）13時～16時開催・PCSA 会議室にて）

＜定例研究部会＞

内容：日常営業における全国各地の事例について情報共有

1. 依存問題対策プロジェクトチーム 報告
2. 日中の点検確認作業に関わる運用の統一について
3. 全国理事会開催結果 – 高射幸性抜粋版
4. 市場価格に基づく等価交換の徹底について
5. IR 法案について
6. 軽減税率について
7. POKKA 吉田 メールマガジンについて
8. 依存問題対応ガイドラインについて
9. 新規則遊技機説明会について
10. 18歳未満立入禁止について
11. 受動喫煙対策について
12. 法律問題研究部会質問コーナー「社員退職後の自社店舗遊技の制限について」

11. その他 拡大部会について
2. 4月定例研究部会（4月21日（土）13時～16時開催予定・PCSA 会議室にて）
 <定例研究部会>
 内容：日常営業における全国各地の事例について情報共有
1. 依存問題対策プロジェクトチーム 報告
 2. 法律問題研究部会 質問コーナー
 3. 法律ハンドブック 2018 について
 4. 最新各地域法律関連情報について

5) 遊技法研究会 委員長：荒田 政雄

1. 4月定例研究会（4月19日（木）13時45分～14時45分開催 PCSA 会議室にて）
 <定例研究会>
 内容：・18歳未満の対応について
 ・賞品（景品）問題について
2. 6月定例研究会
 （6月21日（木）14時45分～15時45分開催予定 PCSA 会議室にて）
 <定例研究会>
 内容：・18歳未満の対応について
 ・賞品（景品）問題について 他
- ※5月は、第17期第定時社員総会・第64回 PCSA 経営勉強会の為、開催なし。

6) 依存問題対策プロジェクトチーム リーダー：辻 良樹

1. 3月定例 PT（3月24日（土）9時30分～12時開催・PCSA 会議室にて）
 <定例会議>
1. RCPG セミナー報告
 2. 第10回依存問題対策推進会議について
 3. 依存問題対応ガイドラインについて
 4. 記事 カジノ法案自公綱引き 日本経済新聞 平成30年3月16日（金）について
 5. 安心娯楽通信 10号－2018年3月号、さくら通信 131号 内容について
 6. 安心パチンコ・パチスロアドバイザー資料について
2. 4月定例 PT（4月21日（土）9時30分～12時開催予定・PCSA 会議室にて）
 <定例会議>
1. 安心パチンコ・パチスロアドバイザーについて
 2. 自己・家族申告プログラムについて
 3. 業界団体における依存対策活動について 他

第11号報告議案 「業界団体活動」報告

当件について事務局より説明があった。4月12日に21世紀会が開催された。概要は下記の通り。

<21世紀会>

日 時：2018年4月12日（木） 午後4時30分～5時30分

場 所：全日遊連 大会議室

出席者：行 政：津村課長補佐、北久保係長

全日遊連：阿部理事長、大野副理事長、井坂副理事長、他
 日遊協：庄司会長、大久保副会長、谷口副会長、堀内専務理事、他
 日工組：筒井理事長、榎本副代表理事、他
 日電協：兼次筆頭副理事長、片田副理事長、小林副理事長、原田専務理事、他
 全商協：林会長、草加筆頭副会長、他
 回胴遊商：大饗理事長、高谷筆頭副理事長、他
 自工会：古宮理事長、他
 補給組合：梁川理事長、他
 同友会：東野代表理事、薛副代表理事、趙副代表理事、他
 余暇進：香月常務理事、他
 認証協：越野専務理事、他
 P S A：石田専務理事、他
 P C S A：加藤代表理事、中島専務理事、事務局 片山

【決議事項】

1. RSN の常勤相談員確保と年間予算の見直しについて

沖縄 RSN の常勤相談員の求人、職員の待遇改善、支援室員の雇用等で 550 万円の負担増をお願いしたい。従来の 2800 万円に加算され 3350 万円となる。

<意見交換>

加藤：追加の負担について、資料 1 に「負担割合に応じて割り振る」と書いてあるが具体的には？

大野：今日は具体的な数字は決めずに今後、前例に則って提案していく。6 月末までには決めたい。

堀内：東京の RCPG に一本化した方が安くなるのではないかと？また、雇用に関しても東京の方がより多くの人が集まるのではないかと？

阿部：西村先生と確認しながら問い合わせるのは可能。ただ、RSN は今現在動いているので今の相談員が東京に来るのか、という事も考えながら対応する必要がある。

大野：他に意見はあるか？異論が無いようなので、1 号決議議案は可決とする。費用負担はホールと全機連で半々とし、詳細は前例に則って決めさせていただく。

<資料概要>

・リカバリーサポート・ネットワーク電話相談件数の推移（資料 2）

2016 年 1 月から 2018 年 3 月までの RSN 電話相談件数の推移をグラフにまとめた。2017 年の 2 月から相談件数が飛躍的に増えた。また、昨年 11 月から始まった夜間対応については、RSN の昼間の相談数の 7～8 割程度の相談件数が来ている。（RSN225～293 件、夜間 155～211 件。昨年 11 月～本年 3 月の 1 月あたり）

2. 電話相談夜間対応等の費用概算について

<資料概要>

・電話相談夜間対応及び対面無料相談費用概算（資料 3）

<説明・全日遊連>

夜間対応、対面無料相談の費用として概算が出たので皆様にご報告すると共に、ご了承いただきたい。

①電話相談夜間対応人件費	1,000 万円
②対面無料相談会人件費	300 万円
③システム利用料および施設使用料	350 万円

④相談員研修費等	120 万円
⑤消費税相当分	142 万円
総合計	1,912 万円

<意見交換>

庄司：これらの費用について、西村先生からご説明いただきたい。人件費を上げるだけで解決するのか？マネジメントに問題は無いのか？また、21 世紀会と RSN の契約を明らかにして欲しい。

大野：契約書は最初に出しているの理解があるものと考えていた。人件費のアップで人員が確保できるかは西村先生とヒアリングを重ねた上の判断。東京に一本化は構想にはある。ただ、現在の対策は西村先生の存在が大きい。今、西村先生が所属している病院は西村先生を自由に活動させてくれている。東京に業務を持ってきて西村先生が困るようだといけない。

兼次：数字を見てもらえばわかるが東京の方が安いのは一目瞭然。だが、RSN は業界にとってありがたい組織。それを踏まえて対応しないといけない。

大野：この件も先ほどと同様に覚書の金額を修正する。

【報告事項】

1. 全商協 RSN 支援室機能の RSN 沖縄への業務移管について

3 月 31 日に全商協の支援室を閉じ、4 月 1 日（実際には 4 月 2 日・月曜日）から沖縄の RSN に支援室機能を移管した。現在、4 月末日の支援室の完全閉鎖に向け残務処理をしている。この 4 月末日までの残務処理の金額を 21 世紀会で負担のお願いをしたい。なお、金額は 1 か月分の人件費で 62 万 1520 円となる。

2. 「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」講習会の開催について

・「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」講習会開催結果（資料 4）

資料の 4 に 3 月、4 月の「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」講習会の開催日程を掲載した。開催が決まり次第「21 世紀会 安心娯楽宣言」のホームページに掲載する。アドバイザー講習会の受講者は 2018 年 4 月 5 日現在で 1 万 9698 人となった。その内、全日遊連非加盟ホールの受講者は 474 人となっている。

<意見交換>

加藤：アドバイザーについては各ホール 3 名を目指している。個人的には全従業員がアドバイザーになってもいいのではないかと考えている。アドバイザー数を増やすためにスピードアップを図るべきだと思う。そのために講習会の資料を他団体にも貸していただけませんか？

大野：著作権の問題で難しいところはあるが、検討をする。

3. リカバリーサポート・ネットワーク関連経費について

・欠員対応出向社員経費（資料 5）

前回、2 月 23 日の依存対策推進協議会で話をした通り、RSN の相談員に欠員が生じ、その対応として出向社員を送ることをお伝えしていた。出向社員の約半年分の経費が出たのでご案内する。3 月の末日に各団体に請求書を送っているが、こちらの欠員対応出向社員の請求書は金額が確定せずに送付できていなかったため、今後改めて請求書を送付する。

4. パチンコ店における依存（のめり込み）問題対応ガイドラインおよび運用マニュアル第 2 版について（資料：日遊協）

「パチンコ店における依存（のめり込み）問題対応ガイドラインおよび運用マニュアル」（第 2 版）を作成した。以前のガイドライン・マニュアルから見直しや新しい取り組みを入れた。「安心パチンコ・パチスロアドバイザー」「相談時間延長」「自己・家族申告プログラム」など。内容については行政、全日遊連、篠

原教授などとも打ち合わせながら詰めてきた。詳細は配布資料をご覧ください。

<意見交換>

大野：版を重ねるたびに完成度が増していくと感じている。異論がなければこの内容にて第 2 版という形で発表する。

5. 自己申告・家族申告プログラムお客様申込数調査結果について（資料：日遊協）

自己申告・家族申告プログラムのお客様申込数について調査をした。自己申告・家族申告プログラム導入店 2075 店の内 2062 点から回答があった。お客様の申込人数は 73 人。プログラム別には自己申告の内、金額が 71 人、回数が 9 人、時間が 9 人、入店制限が 8 人。家族申告では入店制限のみで 4 人となっている。（複数申告あり）

なお、先月中央競馬会に訪問し情報交換をしたところ、去年の暮れから始めている中央競馬会の家族申告プログラムの申込件数は 2 人との事であった。

6. 第三者委員会の設立準備委員会について

2 月 23 日開催の依存問題対策推進会議で、第三者委員か設立のための準備委員会を進めていく事が了承されている。その後、6 団体で検討し、大まかな準備委員会の概要を決定した。

目的：遊技業界が依存問題の対策を進めるに際し、対策内容を外部の有識者に諮問し答申、提言、評価等を得る。基本的に 21 世紀会の方針のもとに依存問題対策推進会議が諮問する。

人選の手順：設立準備委員会は依存問題対策推進会議所属の 6 団体が各団体 1 名ずつ設立準備委員を選出する。その 6 名で検討。設立委員会第 1 回会合に日工組社安研 パチンコ依存研究会メンバーに同席いただき、第三者委員会の構成、人選などについてアドバイスをいただきながら協議をしていく。その後、依存問題対策推進会議、21 世紀会に上程して進めていく。

7. その他当面の諸問題

<日電協・原田専務理事>

日電協でアミューズメントジャパンの協力を得て小冊子を作製した。これは現在のパチンコの依存問題に対する理解が間違った方向に進んでいる事を危惧して作成したもの。厚生労働省のホームページではいつの間にかギャンブル依存症という病気になっているし、田中紀子氏の団体は公益社団法人になった。そのシンポジウムには有力な政治家が参加している。

業界として正しい方向に向かうために広報が必要。お配りの冊子を政治家、各省庁、マスコミに配り、正しい知識を広めていきたい。

<津村課長補佐あいさつ>

オブザーバーとして出席していた警察庁保安課津村課長補佐から、「依存問題対策について、業界の皆様が集まって議論をしていただいていることについて感謝を申し上げる。いろいろな課題もあり、意見もあると思われるが、こういう会合で議論をしていただきよりよいかたちで進んでいただけたらと思う。」との挨拶があった。

以上

<意見交換>

・日電協の資料はどこに配布しているのか？

> 全国会議員、マスコミ、各省庁とのこと。

・送り先は重なるかもしれないが、入手して PCSA 政治分野アドバイザーにメッセージを添えて送ってほしい。

その他

その他 PCSA スケジュール

次回開催

平成 30 年 5 月 31 日 (木) 開催

<スケジュール>

- | | | |
|-----------------|-----------------------|-------------------|
| 11 : 30~12 : 30 | «平成 3 0 年 5 月通常理事会» | (理事・幹部) |
| 13 : 00~15 : 00 | «第 17 期定時社員総会» | (理事・幹部・会員・賛助会員) |
| 15 : 30~17 : 45 | «第 64 回 PCSA 公開経営勉強会» | (理事・幹部・会員・賛助会員・他) |
| 18 : 00~20 : 00 | «情報交換・交流会» | (理事・幹部・会員・賛助会員・他) |

会場 : TKP ガーデンシティプレミアム神保町 3 階

理 事 会 : 「フォレスト」

総会・勉強会 : 「プレミアム ボールルーム」

懇 親 会 : 「プレミアム ガーデン」

以上